



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003.11月号

寄贈品コーナー

化石のいろいろ

化石とは、過去の自然の生物の遺骸や生活した跡が、地層に含まれているものを言います。貝の化石が最も代表的ですが、植物の葉や実、鯨や象・鹿など哺乳類の化石、鮫の歯など魚類の化石などのほか、ウニの這った跡や恐竜の足跡、カニの巣穴なども化石となります。化石というと、石になっているものだけを想像する方がいますが、貝殻だけでも、貝の色が残っていても、地層から見つかれば化石です。縄文人が貝を食べて捨てた貝塚の貝は化石とは言いません。化石は海に堆積した地層から産出することが一般的です。

平塚周辺は、過去1700万年間にわたり、海になったり、陸になったりを繰り返しているため、いろいろな時代の化石が見つかっています。

今回の寄贈品コーナーでは、平塚周辺で見られる6000年前・13万年前・50万年前・200万年前・500万年前の5つの時期の地層から産出する、いろいろな化石を紹介します。現在では、かつてあった化石産地がほとんど消滅してしまいましたが、大磯町の西小磯の海岸では、まだ化石を見ることができます。平塚の市街地は、6000年前に最も奥まで（大神付近まで）海におおわれており、地下を工事で掘削すると、たくさんの化石が見つかることがあります。東豊田や徳延のポンプ場の工事では多量の貝の化石が見つかっています。そんなときには、是非、博物館にご一報ください。

平成15年11月1日（土）～11月30日（日）



小田原厚木道路 大磯パーキングエリアの工事中に見いだされたホタテガイ類の貝化石

火星 展示の目の付けどころ

火星の最高と最低は？

火星の最も高い所と最も低い所って、どこでしょう。

展示室に入って最初に目に付くのが天井からぶら下がっている火星儀です。火星儀といっても丸くなく、変な気がするかもしれません。これは火星を30に分割した火星図をもとに組み立てています。赤道をはさんで南北の16の低緯度帯と、12の扇型の中緯度帯、北極と南極を中心とした2つの高緯度帯です。この分割火星図のカラー版が展示室入口手前の廊下の左右にも並んでいます。これはマーズ・グローバルサーベイヤーの観測による最新の地形図で、火星表面の細かい地形を余すところなく見ることができます。色の違いは標高を表しています。青は低い所、赤褐色から白いところは高い所を示しています。さて、このなかから最高と最低が探し出せるでしょうか。



天井からぶら下がっている火星儀

バイキング着陸船の着地点はどこ？

火星に軟着陸し、火星表面の写真を始め、気象データなど数々の貴重な観測を行ったバイキング着陸船、火星のどんな所に降りたのでしょうか。もちろん、やみくもに降りたわけではありません。降りる前に、火星上空からたくさん火星面の写真を撮り、最もふさわしいところに降りたのです。その、最もふさわしいところ、というのは、生命がいそうな所、あるいはその痕跡が残されていそうな所です。そんな所っていったいどこなのでしょう。

ヒントは水が流れてたまった可能性のあるところですよ。火星でも低地帯の広がった所で、クリセ（クリュセ）とユートピア平原です。どちらも展示室の一番奥にある火星の立体模型展示の中に印があります。

火星いん石のふるさとのクレーターは？

火星から飛んできたとされるいん石、火星いん石と呼ばれ、火星いん石は、3つ展示されています。実はこの3つ、採集された場所は南極やエジプトなど、違っていますが、どうも同じ時に火星を飛び出してきたものだと考えられています。どれも13億年前に火星に噴出した溶岩が固まり、水の中にあった形跡もあります。その後火星に落下したいん石に弾き飛ばされ、宇宙空間に飛び出して地球に到達したもの、と考えられています。生命の星・地球博物館所蔵のいん石と、南極いん石の違いは、溶岩が固まった深さの違いのようです。深い順にシャシナイト、ナクライト、シャーゴッタイト、の順だといわれています。さて、こんないん石を地球に送り込んだ火星表面には、いん石落下の衝撃でできたクレーターがあるに違いありません。きっと大きな、しかもわりと新しいもの、火星の岩を弾き飛ばすにはかなりななめに突っ込んできて、楕円のクレーターを作っただろう、などと想像できます。もちろんはっきりとした証拠はないのですが。いま最もそれらしいといわれているのは、Raheというクレーターで、火星図では、MC-9（タルシス）の中にあります。

秋期特別展 火星大接近 2003

会 期：平成15年10月4日（土）～11月30日（日）

会 場：特別展示室

特別展関連行事

火星を見る会：11月7日 19時～21時（雨曇天時中止）参加自由

フリートークプラネタリウム

虫の聲がかすかになると、星の輝きが目立ってきます。淡い秋の星座たちに代わって、ダイヤのような冬の星々の光輝が、霜を運んで来でしょう。移り行く季節を星に感じながら、長い夜をすごしてみませんか？

「フリートーク・プラネタリウム」は、その日の投影担当者が話題を選んでお届けします。内容は当日までわからない気まぐれプログラム。ごゆっくりおつきあいください。

投影期間：11月1日～11月30日（毎週土・日曜日 11:00、14:00 より投影します）

博物館期待のニューフェイスをご紹介します

10月から歴史担当の学芸員に着任した早田旅人（はやた たびと）です。

大学院では二宮尊徳の報徳仕法を中心とした近世村落史の研究をしてきました。また、大学院在学中に、東京で非常勤の学芸員、栃木で自治体史の編さん委員も勤めてきました。

出身は厚木市なので、平塚市を含めた県央地域や、博物館のテーマである「相模川流域の自然と文化」には愛着と関心が強くあります。最近

は市内を自転車で回りながら、史跡や地形を確かめ、平塚市域の歴史の成り立ちや特徴を考えているところです。

博物館では平塚市域、相模川流域の歴史の調査・研究をすすめ、展示や行事などを豊かなものにしていくとともに、それらを通して市民の方々と一緒に平塚・相模川流域の新しい歴史像を切り開き、発信していきたいと思えます。

そんな私ですが、今後、末永くご指導たまわりますよう、よろしく願いいたします。



ガイドブック「地層と化石」の訂正について

1983年に当館で刊行したガイドブック「地層と化石」につきまして、2箇所（削除）すべき箇所が生じたので、該当書籍をお持ちの際には、お手数ですが、ご持参またはご送付いただけますよう、お願い申し上げます。訂正後、改めてご返却いたします。

博物館カレンダー

2003年11月の行事

11	1	土	☆	プラネタリウム「フリートーク」(～30日) 民俗探訪会「大田道、蓑毛の旅」 寄贈品コーナー「丹沢の岩石」(～30日)	プラネ 秦野市 展示室
11	2	日		古代遺跡を探す会	野 外
11	5	水		平塚社寺調査会	特研究室
11	6	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
11	7	金	◎	火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	屋 上 屋 上 講 堂
11	8	土	○ ◎	考古学入門講座「相模川流域」 漂着物を拾う会 地質調査会	講 堂 虹ヶ浜 清川村
11	9	日		水辺の楽校生きもの調べの会 古代遺跡を探す会	野 外 野 外
11	12	水	○	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
11	13	木		湘南コケの会 石仏を調べる会	講 堂 特研究室
11	14	金		天体観察会 古文書講読会	屋 上 講 堂
11	15	土		民具に親しむ会	科学室
11	16	日	◎	ろばた話の会 相模川の生い立ちを探る会	展示室 伊東市
11	19	水	○	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会 裏打ちの会	プラネ 科学室
11	20	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
11	21	金		古文書講読会	講 堂
11	22	土	○	考古学入門講座「相模川流域」 空襲と戦災を記録する会 地質調査会	講 堂 特研究室 科学室
11	27	木		石仏を調べる会 植物誌調査会	特研究室 野 外
11	28	金		古文書講読会	講 堂

2003年12月の行事

12	3	水	☆	寄贈品コーナー「生物分野」(～1月4日) 平塚社寺調査会 ○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	展示室 特研究室 プラネ
12	4	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
12	5	金		古文書講読会	講 堂
12	6	土	☆	プラネタリウム「2004年の天文現象」(～2月7日) 民俗探訪会「秋葉山火防祭」	プラネ 小田原市
12	7	日		古代遺跡を探す会 地質調査会	野 外 科学室
12	11	木		湘南コケの会 石仏を調べる会	野 外 特研究室
12	12	金		古文書講読会	講 堂
12	13	土	◎	漂着物を拾う会 地質調査会 天体観察会(～14日)	虹ヶ浜 清川村 函南
12	14	日	○	体験学習「お飾りを作ろう」 水辺の楽校生きもの調べの会	講 堂 水辺
12	17	水		裏打ちの会 ○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 プラネ
12	18	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
12	19	金		古文書講読会	講 堂
12	20	土		民具に親しむ会 ○自然の新聞を作る会	科学室 野 外
12	21	日	◎	ろばた話の会 相模川の生い立ちを探る会	展示室 秦野市
12	25	木		石仏を調べる会 植物誌調査会	市内 野 外
12	26	金		古文書講読会	講 堂
12	27	土		空襲と戦災を記録する会	特研究室

☆: 展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

<展示とプラネタリウム>

☆秋期特別展 「火星大接近 2003」

6万年ぶりといわれる大接近が話題となりました。その素顔は、地球とのちがいは、など惑星火星について展示します。

会 期: 10月4日(土)～11月30日(日)

会 場: 特別展示室

◎火星を見る会

大接近の火星を望遠鏡で観察します。

期 日: 11月7日(金)

時 間: 19時～20時30分

場 所: 博物館科学教室・屋上 参 加: 自由

☆プラネタリウム 「フリートークプラネタリウム」

投影日: 土・日曜日の11時と14時

期間: 11月30日(日)まで

☆寄贈品コーナー

11月1日(木)～11月30日(木)「丹沢の岩石」

<参加者募集>

◎考古学入門講座「相模川流域」

期 日: 11月8日、22日の各土曜日

時 間: 14時～16時

会 場: 博物館講堂 参 加: 自由

○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会

宇宙のしくみやそれを解明する科学の最新の成果などを解説します。

日 時: 11月12日・19日、12月3日・17日、1月14日・21日、2月4日・18日の各水曜日

場 所: 博物館プラネタリウム

◎考古学入門講座「相模川流域」

日 時: 10月4日(土) 18日(土) 14時～16時

場 所: 博物館講堂 参 加: 自由

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日 時: 11月8日(土) 9時30分～11時

場 所: 平塚虹ヶ浜海岸

参 加: 自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎ろばた話の会

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日 時: 11月16日(日) (1)13時20分～ (2)15時～

場 所: 展示室民家 参 加: 自由

○体験学習「お飾りを作ろう」わらで正月のおかざり(一文飾り、星の玉、宝船など)を作ります。

日 時: 12月14日(日) 10時～15時

場 所: 博物館講堂

申 込: 往復はがきで12月2日(火)までに申し込むこと

定 員: 50名

あなたと博物館 29巻 9号 通算324号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>